

東京大学西洋古典学研究室マクロ集

松浦高志

2006/06/22

1 はじめに

これは人文系（特に西洋古典学）の論文や論文集、書籍を作るときに役立つマクロを集めたパッケージ集です。奥村晴彦氏作成の `okumacro.sty` などを参考にし、一部はそのまま頂いています。

1 `(*glc)`

2 記号類

2.1 二倍ダーシ

`\ - -` まず二倍ダーシです。論文副題などに使います。

2 `\def\ - -{ \kern-.5zw \kern-.5zw }`

`\` 全角マイナスの代わりに全角ダーシ二つも使えます。

3 `\def\ { \kern-.5zw \kern-.5zw }`

2.2 著者名の省略

`\sameauthor` 次に、（特に文献表で）同じ著者が続く場合に横棒で著者名を省略する記号です。em-dash の 2 倍の長さで作成してあります。ちなみに、Oxford University Press (Clarendon Press) では、em-dash の 2 倍で、出版社によっては em-dash の 3 倍（手で調べたところ、University of California Press など）のようです。Cambridge University Press ではこの記号は用いないのが普通です。他に情報がありましたらお知らせ下さい。

4 `\def\sameauthor{---\kern-.5em---\kern-.5em---}`

3 Babel

Babel で良く使う `\selectlanguage` や `\foreignlanguage` といったコマンドは長いので、それぞれ `\S?` や `\F?` といった別名をつけておきます。すべての言語を網羅するのは大変なので、とりあえずは良く使う言語だけです。

```

\SJ
5 \newcommand{\SJ}{\selectlanguage{japanese}}

\SE
6 \newcommand{\SE}{\selectlanguage{english}}

\SG
7 \newcommand{\SG}{\selectlanguage{greek}}

\SL
8 \newcommand{\SL}{\selectlanguage{latin}}

\SD
9 \newcommand{\SD}{\selectlanguage{german}}

\SF
10 \newcommand{\SF}{\selectlanguage{french}}

\FG
11 \newcommand{\FG}{\foreignlanguage{greek}}

\FL
12 \newcommand{\FL}{\foreignlanguage{latin}}

\FD
13 \newcommand{\FD}{\foreignlanguage{german}}

\FF
14 \newcommand{\FF}{\foreignlanguage{french}}

```

4 文献表

`classicsbibliography` 西洋古典学での文献表と \LaTeX の標準の文献表の違いは主に以下の2つです。

- 西洋古典学では、番号付けは普通行わない
- 「テキスト」「注釈」など、参考文献を分類することがある

そのため、`classicsbibliography` 環境を次のような方針で定義しました。

- 参照の機能は省略し、`list` 環境のみで定義する
- `thebibliography` 環境とは違い、『参考文献』などの見出しが出力されないようにする

ひとつの項目の中で改ページされないよう、`\interlinepenalty` の値を 10000 に設定しておきました。

```
\begin{classicsbibliography}
  \item Syme, \textit{The Roman Revolution}, Oxford, 1939.
\end{classicsbibliography}
```

と書くと

Syme, *The Roman Revolution*, Oxford, 1939.

のように出力されます。

```
15 \newenvironment{classicsbibliography}{%
16   \list{}{%
17     \leftmargin2em
18     \itemindent-2em
19     \labelwidth\z@
20     \labelsep\z@
21   }
22   \sloppy
23   \interlinepenalty\@M
24   \clubpenalty4000
25   \@clubpenalty\clubpenalty
26   \widowpenalty4000%
27   \sfcode'\.\@m}
28 {\def\@noitemerr
29   {\@latex@warning{Empty 'classicsbibliography' environment}}}%
30 \endlist}
```

以上で終わりです。

```
31 </g|c>
32 \endinput
```